

1012/05/25

事例発表

# 男目線の男女共同参画

言行ふいっち族 福間正久

## 「あすてらす情報Market」

### ◆情報ライブラリー

女性に関わる様々な問題や男女共同参画社会の実現のための図書・行政資料を中心に所蔵しています。児童向け図書や啓発ビデオ、DVDなども所蔵しており、学習や研修など目的に応じてご利用いただけます。

### ◆情報ライブラリーの普及PRする機関紙「情報Market」の編集に携わる

# 男の自立は“食”から

## オトコ5人、料理との出会い

**石橋：**私はここ2年、料理をしていませんが、大学時代は自炊をしていました。飲食店でアルバイトをしていて、調理を担当していましたね。妻には口が裂けても言いませんが、料理の味つけは妻より私の方が上だと思っています(笑)

## 妻と夫と料理のさんかく？関係

**光田：**私は子供が4人いますが、妻がお産続きだったことと病気がちだったので、私が仕方なく料理をすることになったのです。今は、朝食と4つの弁当作り、夕食の洗い物をしています。妻は夕食作りだけです。そもそも、こういうふうになったきっかけは、役場勤めの妻が、町の女性行政懇話会委員の役は自分の夫がしますと勝手に引き受けてきて、家事は交代でしましよと一方的に宣言したことです。それからというもの、私が料理をしていても手伝いは一切ありません。テーブルの上くらい拭いてくればいいのにとと思いますが、コーヒー飲んでテレビみて笑ったりされると、ほんとうに腹が立ちます。でも一方で、これまで多くの女性たちが何の疑問もなく家事の大半を担ってきたことは、まさしく性別役割分業ではないかと身をもって知るようになりました。

**日高：**私は妻と一緒に買い物に出かけることは滅多にありませんが、たまに出掛けると知人と出くわし「いや〜ご熱心ですこと」とか言われ、「いやいや、滅多に来ないんですが…」などと言いつつが面倒なんですよ。それで遠くのスーパーに行くとそこでも知人に会ったりする(笑)。

**河部：**うちは買い物もレジャー感覚で楽しきますよ。妻は食料品関係、私は日用雑貨を担当しています。

## 食から始まる、はじめの一步

**日高：**社会的に活躍している男性の中には、家庭では妻に頼りっぱなしで、自分の服がどこに片付けてあるのかわからない方もおられます。男性は、万が一妻がいなくなったときのことを考えると、最低限生きていけるだけの生活の知恵を身に付けておかないとダメですね。炊飯器、掃除機、洗濯機くらいは使えるようにしておかないと、もしもの時にはパニックになると思います。

**福間：**たしかに男性といえども生きてゆくための生活の知恵は必要ですね。私もそんな事例を見て身につまされたことがあります。だから夫には家事などは一切させないという良妻賢母は亭主をダメにしていると思います。

妻は多少手抜きをしても亭主を躰ける「いい意味での悪妻」になったほうがいいと、私は思いますね。

(H21.10.08：ま〜)

## 男女共同参画の実践的な啓発活動 “つぶやき日記”の発表

光田さん

「男もつらいよ…嫁・姑のいたばさみ！」

福間さん

「定年男性、生かすも殺すも妻次第」

つぶやきに、会場みなさんは頷いたり笑ったり、身近な視点から考える良い機会となりました。

会場には男性の参加者の姿も見られ、島根県においても、男女共同参画が着実に浸透している現状に触れることもできました。短い時間ではありましたが、充実した実りあるイベントでした。

(はっしー)





《平成22年度 男性のための生活自立支援セミナー》

自分流ライフプラン応援セミナー

**「リタイア生活は未知との遭遇である」**

言行ふいっち族福間正久

退職して4年になるわたし流の暮らし方をお話することになりました。

退職後の生活は、現役時代の生活パターンをご破算にし、地域という横社会への密接な繋がりを持つことが必要であると思います。そのためには、地域情報にアンテナを張り巡らし、積極的に地域に打って出る姿勢が大切です。

そして、地域社会に貢献し、新しい仲間づくりなど、多様な顔を持つことが生き甲斐に繋がると思っています。みなさんには、どう受け止めていただけましたでしょうか。

# 日本女性会議2011松江

(シンポジウムで)

- ◆男性の視点で語る男女共同参画
- ◆老々介護の時代、男性も家事の素養を
- ◆リタイア男性は宝の山
- ◆家庭の育児はイクメンに  
地域での育児はイクジイに





# 男女共同参画？

企画・運営 言行ふいち族

(財)しまね女性センター開館10周年記念  
フェスティバルで、「男女共同参画？  
今こそ語ろう男の本音」と題するシンポ  
ジウムを開催。コーディネーターにNH  
K松江のニュースでおなじみ堀江清市  
チーフアナウンサーにお願いしました。

当日は125名の聴衆を迎え、堀江さ  
んの人気と司会のワザで実にやわらかい  
ムードの中、会場を走り回って、家庭や  
地域の課題を引き出しながら私たち5人  
のパネラーと結んでいただきました。

笑いの中で男女共同参画を考える90  
分がアッという間に過ぎ去っていきまし  
た。アンケート結果からも好評だったよ  
うに思います。

## あ～いいにおい これ何？ おじいちゃんの台所

全国男女共同参画宣言都市  
サミットinいずも

男性の料理グループ「料理やろう会」は、出雲市男女共同参画の家庭部会として、分科会「おじいちゃんの台所」に参加しました。  
三世代が心を一つにして作る料理から、家族の絆の大切さを再認識するとともに、おじいちゃんも積極的に厨房に入ることを目指しました。







## リタイア男性は宝の山

「出雲市生涯学習講座」、あすてらすの「男性のための生活自立支援セミナー」などの受講生たちは、ほとんどがリタイア組で、セミナー等の終了後も「袖触れ合うも多生の縁」とグループを作っています。

リタイア男性は、それぞれの分野で現役時代に培ってきた豊富な経験と特技があり、それらはお互いの宝物となっています。そして、その特技が地域活動にも発揮されています。横並びの仲間たちとの宴席は実に愉快だ。

## イクメン？ イクジーも頑張る!!



男性のための生活自立支援セミナーで企画された「おやじの絵本読み語り」教室。

受講したのは高齢者ばかりだったので、イクメンならぬイクジーが誕生。子ども目線に立った読み語りの特訓を受講。

イクジーの子育ては、家庭内はもちろん地域にまで根づきつつあります。写真はNPO法人ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也さんによる読み語りの実践指導。

# 研修・セミナーは横社会を広げるチャンス

一過性の研修・セミナーではむなしい

アフターケアも大事

## 講習・セミナーを生かしたグループ化

1. 料理やろう会⇒男性のための料理教室の有志

[料理やろう会&食プロジェクト.xls](#)

2. 出雲市男女共同参画センター(くすのきプラザ)

[男の生き方セミナー.doc](#)

[自分史づくり.doc](#)

[ライフプランセミナー.doc](#)

① くすのき会⇒男性の生き方セミナー

② どげな会⇒ブログ、名刺づくりセミナー

③ おんぼらと会⇒リタイアの生き方セミナー

[くすのき.どげな.おんぼらと.xls](#)

# ひとり遊びの趣味

[木彫写真.doc](#)



THE END